

南住吉小学校



(令和7年5月1日現在)

所在地	〒558-0041 住吉区南住吉3-5-1		
電話	06-6693-3941	FAX	06-6693-3672
URL	http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e731667		
校長名	畠中 紹宏		
児童数	783名	教職員数	53名
学級数	31学級（うち特別支援学級8）	集団登下校	なし
標準服	なし		

教育目標

自他を大切に作る心、確かな学力、
健康な体を基盤とした
社会に貢献できる子を育成する。

めざす子ども像

- ①思いやりをもち、助け合える子
- ②自ら学び、最後までやりとげる子
- ③健康で、たくましい子
- ④目標に向かって、みんなで協力できる子

校長メッセージ

本校は住吉区のほぼ中央に位置し、区役所や図書館等が隣接していることもあり、教育環境に恵まれた学校です。今年で創立68年目を迎えます。保護者が本校の卒業生という家庭も多く、地域学習や登下校の見守り活動などで、地域の学校として皆様より多くのご支援を賜りながら日々の教育活動に取り組んでいます。

児童数は783名（令和7年5月現在）と大規模な学校です。「正しく・やさしく・みんなのために」を校訓とし、昨年度から、「『ことば』を大切にし、うれしくなる『ことば』があふれる学校」をめざして、保護者・地域・教職員が協力しながら、その実現に向けた教育活動を推進しています。このような環境の中で、将来に向け、学力の定着をはかり、個性を尊重し合い、いじめを許さない集団を育成し、健康でたくましく生きる力を持った子どもを育てます。

学校協議会会長メッセージ

南住吉小学校区では、地域住民の皆さんが平成17年に、当時の児童が命名してくれた「パトレンジャー」と呼ばれる、子ども見守り隊を結成しています。地域住民の皆さんが、毎日の子どもの登下校の安全を守る活動を現在も続けてきています。また、毎年夏に子どもたちが楽しみにしている「南住吉えーまちフェスタ」などの地域行事等も開催し、地域と保護者と学校が協力しながら子どもたちの健全育成に取り組んでいます。

学校協議会では、学校の取り組みについて説明いただく中で、地域や保護者の願いもお伝えしながら、南住吉小学校の子どもたちのためになる、よりよい学校運営に向けて協議を進めております。今後とも、子どもたちのために、地域、保護者、学校が協力できますようにご支援ください。

▶▶ 運営に関する計画

年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 望ましい集団の育成に向けて、学年のまとまりを高める取り組みを学期に1回以上行う。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を60%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕
- 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を70%以上にする。
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間上限に関する基準2を満たす教職員の割合を80%以上にする。
- 主幹学校司書と連携を強化し、授業での学校図書館利用を増やし、読書指導を進める。

きめ細やかな学習指導



1人1台端末をいかして学びの充実を図っていく。デジタル教材の活用や心の天気の利用を通して児童の学習面だけではなく心の状況把握にも努めていく。様々な場面でICTの活用の充実意を図れるよう努めていきたい。また、今年度も高学年の体育科に専科教員を置き、児童の運動能力や体力の向上と運動への興味関心を高められるよう取り組んでいる。さらに、学校図書館には、週4日司書が在室し、貸し出しやレファレンス、読み聞かせなどを行い、本に親しむ環境づくりに努めている。

教職員の資質向上



本校では教職員の資質向上をめざし、校内研修の実施や学校外での研修会・研究会への参加など自己研鑽に励んでいます。今年度より、国語科を研究教科とし、「聞く」「表現する」力に重点を置いて研究を進めていきます。これらを通して学力の向上とともに、児童1人1人の達成感や学習意欲の向上につながるよう取り組んでいきます。

▶▶ 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状（調査対象：令和6年度の小学6年生）

【平均正答率（%）】

国語	算数
60	57

国語科・算数科ともに全国平均を下回る結果となった。国語科においては、「話す聞く」の内容で全国平均13.5ポイントと差が開いた結果となった。算数科では、「数と計算」「変化と関係」の内容で8ポイントと差が開く結果となった。国語科の平均無回答率は全国平均よりも下がり改善がみられたが、低くなった。算数科の無回答率は全国平均よりも高い結果となった。

▶▶ 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果（調査対象：令和6年度の小学5年生）

【種目別平均値】

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点(点)
男子	15.78	18.38	32.73	34.16	47.09	8.90	146.76	19.44	50.84
女子	15.65	18.13	35.72	33.69	36.13	9.21	132.10	12.28	51.85

50m走と男子の20mシャトルランで全国・大阪市平均を上回る結果となった。特に、シャトルランに関しては、例年平均値を下回っていたので、大きな変化のあった項目になる。ただ、それ以外は、全国・大阪市平均を若干下回る結果となった。その中でも、反復横跳びが大きく下回った。そのため、体力合計点も男女ともに全国・大阪市平均を下回る結果となった。質問項目の「運動やスポーツをすることは好きですか」の肯定的回答においては、男子は95%で平均以上であるが、女子は79%で平均を下回る結果となっている。また1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子は2%と平均より少ないが、女子が18%で全国平均より若干多くなっている。

【P75に全国・大阪市平均を掲載。ご参照ください。】